

平成30年1月18日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

板倉、大木、黒田、佐藤、菅、園田、高橋、高見澤、長澤、中島、平勢、松田、真鍋、
安富の各教授

池亀、額定其芳、藏本、小寺、鍾、塚本、馬場、古井、森本の各准教授

海外渡航者

名和教授

議事

12月14日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 資料P7のとおり1件
2. 各種研究助成等の募集について 資料P8のとおり2件

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 未来社会共創推進本部（1月9日）

資料P9～18に基づき、新たな出資事業の実施に関する検討にあたっての説明があり、申請を希望する場合は資料を確認のうえ、対応いただきたいとの要請があった。

2) 科所長会議（1月9日）

資料P20～29に基づき、平成30年東京大学-プリンストン大学共同研究・教育プロジェクトの公募について、説明があった。

3) 予算委員会（1月9日）

資料P30～32に基づき、平成30年度の本学の運営費交付金予定額と全国共同利用・共同実施分の部局配分予定額について報告があった。

4) 教育研究評議会（1月16日）

資料P33に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

5) 第7回 東京大学東洋文化研究所、復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部 共催国際学術会議（12月16日～17日）

12月16日から17日にかけて東京大学東洋文化研究所において本研究所と復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部との学術交流コンソーシアム覚書に基づく国際学術会議が開催されたとの報告があり参加した教員に対して謝辞が述べられた。

引き続き、大木教授より平成30年度は復旦大学を会場として開催する予定であるとの説明があった。

6) 教員の海外渡航について（報告）

資料P 34～35のとおり5件を承認した旨報告があった。

7) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P 36～37のとおり委員等3件、非常勤講師2件を承認した旨報告があった。

8) その他

① 平成30年度予算2次配分要求書の提出を1月22日に予定しているとの説明があった。

② 平成30年4月1日付クロス・アポイントメントで採用予定の秋葉淳准教授について、東京大学の役員会で承認されたことはすでにお知らせしたが、千葉大学の役員会においてもクロス・アポイントメントが承認されたとの報告があり、併せて現在は協定書の内容を調整中であるとの進捗状況について報告があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

特になし

2) 財務委員会

松田委員長より、資料P 38～39に基づき平成29年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会ともに適切な執行へ協力いただきたいとの要請があった。また、1月23日（火）の所内ヒアリングへの協力要請があり、各委員会の時間割については、追って事務より連絡するとの説明があった。

3) 図書委員会

大木委員長より、1月16日に開催された図書行政商議会について、大型コレクションの選定結果と、資料P 40に基づき、総合図書館本館のⅢ－3期耐震改修工事計画の概要について報告があった。

また、アジア研究図書館分館設置に係る協定締結に向けての協力について、後程審議願いたいとの説明があった。

4) 研究企画委員会

長澤委員長代理より、刊行物に関する事務担当者が来年3月末に退職することに伴い、刊行物の出版作業を一部外部へ委託すること等、対応を引き続き検討しているとの報告があり、教員で分担することが出てくるかもしれないが、その際は協力願いたいとの要請があった。

藏本委員より、本日14時から大会議室で開催される松田教授の定例研究会について案内があった

5) 情報・広報委員会

菅委員長より、東洋文化研究所のロゴマークについて使用規程を定めたこと、ロゴマーク作成および規程を設けることとした経緯について説明があった。

この報告を受け、質疑の結果、アラビア語版のロゴマークについても同様の取扱いとすること、また、教職員が所外で行う研究発表で使用するロゴマーク入りのパワーポイントや学会発表の資料等は2.（1）の公的な制作物に含むことが確認された。

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長より、次年度の事業計画を策定中に共同利用・共同研究拠点にかかる次年度予算削減の報を受けたが、計画の見直しは行わず例年通りに進めているとの報告があった。

7) G J S委員会

園田委員長より、資料P 4 3～5 0に基づき、今年度のサマープログラムの実施報告があった。

また、前回も報告済みであるが、平成30年度からは大学院学際情報学府・学際情報学専攻アジア情報社会コース（ITASIA）でG J Sの講義が1科目1単位として認められることとなるとの説明があった。

8) 情報セキュリティ委員会

柘屋委員長より、

① 平成29年度に実施したサーバのリプレイス後、バックアップ作業をしながら様子を見ているとの報告があった。

② 平成30年度は附属センターのサーバのリプレイスを予定しているとの報告があった。

9) その他

特になし

5. その他

1) 平成30年度短時間勤務職員の雇用手続きについて

資料P 5 1に基づき、土田事務長より、来年度の短時間勤務職員の雇用更新、新規採用に係る手続きについて、提出書類、提出期限、留意事項等の説明があり、期限までの手続きが難しい場合は、あらかじめ事務へご相談いただきたいとの依頼があった。また、現在、雇用にかかる規則等の見直しが進められていることにあわせて、申請様式の改訂を行っているとの説明があり、教授会後に改めて所内周知を行うこと、その際に新様式を提示するとの案内があった。

2) 兼業の申請手続きについて

資料P 5 2～5 3に基づき、土田事務長より、兼業手続きの徹底について依頼があり、制度の概要および手続きについて説明があった。

また、柘屋所長より、新規の兼業許可申請だけでなく、兼業の許可は自動的に更新されないことにも留意し各自の許可期間を確認のうえ、事前に適切な手続きを行うよう要請があった。

3) 本年度の退職者・転出者の送別会について

柘屋所長より、本年度の退職者・転出者の送別会を3月29日（木）に開催したいとの提案があり、レクリエーション委員で企画を進めるよう要請があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

資料P 5 4～5 5のとおり3件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P 5 6のとおり2件の受入れが承認された。

8. 寄附金の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P 5 7のとおり1件の受入れが承認された。

9. アジア研究図書館分館設置に係る協定締結に向けての協力に関する覚書について

大木図書委員長より、アジア研究図書館分館設置に係る経緯の説明の後、資料P 5 8の案で覚書の締結することについて提案があり、承認された。

10. 教員人事について

柵屋所長より、平成29年2月23日の教授会において採用を承認した准教授採用予定者について、業務割合50対50のクロス・アポイントメントの検討を進めることについて提案があった。

中島副所長より、本件提案に至る経緯及びクロス・アポイントメント締結した際の条件等の説明の後、回収資料に基づき説明があり、意見交換の結果、承認された。

これを受け柵屋所長より、今後に予定されているスケジュールについて説明があった。

11. 研究部門等の組織を定める内規改正について

柵屋所長より、資料P 5 9～6 1に基づき、平成30年4月1日付の准教授の採用に伴う内規の改正について提案があり、意見交換の結果、一部修正のうえ「アジアの書物文化研究領域」とすることで承認された。

12. 客員教授の称号について

柵屋所長より、平成29年1月19日教授会にて平成30年度新世代アジア研究部門に特任教授として採用することが決定した者に対して、客員教授の称号を付与したい旨提案があり、承認された。併せて、招聘条件については資料P 6 2に基づき、候補者に打診、内諾を得ていること等補足があった。

13. 平成30年度教授会日程案について

柵屋所長より、資料P 6 3～6 5に基づき、来年度の教授会及び各委員会の開催日程について説明があり、次回以降の教授会にて最終的に開催日程を確定することとしたい旨提案があり、承認された。

14. その他

特になし

以上